

◆奨励賞◆

一円の価値

崇善 小学校 六年

山崎 美桜

あなたの足元に、一万円札が一枚と、一円が一枚落ちています。どちらか一枚しか拾うことができなかつたら、大半の人が一万円札を拾うでしょう。では、あなたが足元に残した一円で、何ができると思いますか。

今日、地球には約八十一億人の人々が生活しています。例えば、全員が一人一円ずつ募金して、貧しい人達や、助けが必要な人達に寄付をしてみてください。そうすると、一日で八十一億円、二日で百六十二億円、三日で二百四十三億円の寄付金が集まることになります。たった一円でも、それが八十一億枚集まれば、八十一億円になります。つまり、一人たった一円の寄付でも、全員がたった一円ずつ出し合えば、八十一億円という膨大な金額になるのです。

また、一円をたった一円と言うのもおかしいと私は思います。誰かに「あなたは自分で一円を稼いだことがありますか。」と聞かれたら、私の周りの友達は、大半がいいえと答えるでしょう。友達と遊びに行った時に使ったお金も、今使っているこの原稿用紙も、私の親が仕事をして、その給料で買ってもらったものです。現在の神奈川県の最低賃金で計算すると、一時間あたり千百十二円、一分あたり約十八・五円（小数点以下第二位で四捨五入）となります。この十八・五円を高いと捉えるか低いと捉えるかは

人それぞれだとは思いますが、一分間に十八・五円という事実は、稼ぐことを知らない私達にとって、とても大切なことだと思います。

正直、おばさんやおじさん、おばあちゃんやおじいちゃんにお年玉をもらったときに、「なんだ、これだけか」と思ったことは少なくはありません。でも、今まで『これだけか』と思っていた私の中の金銭感覚は、この文章を書いているうちに、少しずつですが、一円一円に対して、価値が上がっていったような感じがします。

無理に節約しろだとか、欲しいものを買うなとか、そういうことは言いません。でも、私達人間が生きていく上で、私達子供がこれから大人になっていく上で、お金に対しての価値感というものは、とても大切なことの一つだと思います。どうか、一円に対してのあなた自身の価値を、もう一度改めて考え直してみてください。さらに、それが百倍の百円、千倍の千円になったとき、その価値はどのくらい膨れ上がるのか。その結論が出せるとき、また一つ、あなたの人生の経験が増えたと言えるでしょう。